

「ボランティアによるクロマツの植樹」を開催

爽やかな青空の下、4月15日（土）に庄内海岸林（万里の松原）の新林国有林内において、ボランティアによるクロマツの植樹を行いました。

庄内海岸沿いの松林は、飛砂、潮、強風から農地や家屋を守るために先人達が多く苦勞を重ねながらクロマツを植林し、造成してきた歴史的な遺産であり、現在も庄内地域の暮らしや産業の基盤となっています。

この海岸林も、近年では松くい虫の被害等により、松林の中に空間ができるなど、その役割を十分に発揮できなくなることが懸念されています。



元気に育て！—僕らの願いを込めて—



地域の財産！海岸林を、地域力で守り育てよう

このような中、万里の松原に親しむ会、NPO庄内海岸のクロマツをたたえる会、地元自治会や酒田市広報による一般参加者等、約30名の参加により、クロマツの苗木150本を植付けしました。

この小さな活動が、庄内海岸林の貴重な松林を守り、育て、将来に引き継がれることを希望し、気持ちのよい汗をかきながら、事故なく終了しました。